



このまち思いエネルギー。

広島ガス

# 広島ガスCSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

## 2024

持続可能な社会を  
私たちの手で…



## 目次

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方                 | 01 |
| トップメッセージ                                  | 02 |
| 経営理念体系                                    | 03 |
| ・マテリアリティ (重要課題)                           | 05 |
| 事業戦略                                      |    |
| ・中期経営計画                                   | 07 |
| ・広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」          | 09 |
| ・広島ガスグループにおけるSDGsの取り組み                    | 13 |
| トピックス                                     | 15 |
| ・「グリーン電力」の一般販売開始                          |    |
| ・廿日市市における特定送配電事業の開始                       |    |
| ・「GXリーグ」への参画                              |    |
| ・山口県における森林の循環利用事業に関する協定の締結                |    |
| ・省エネ大賞受賞                                  |    |
| <b>経営分野</b>                               |    |
| 都市ガス事業フロー、供給区域と体制                         | 17 |
| 都市ガスの安定供給に向けた取り組み                         | 19 |
| お客さまの安心・安全に向けた取り組み                        | 20 |
| 防災対策                                      | 21 |
| 広島ガスグループの経営体制                             | 23 |
| 連結財務データ                                   | 25 |
| <b>環境分野</b>                               |    |
| 環境マネジメント                                  | 29 |
| 環境目標                                      | 30 |
| お客さま先でのCO <sub>2</sub> 削減への貢献             | 31 |
| 再生可能エネルギーの普及拡大                            | 33 |
| 事業活動に伴うCO <sub>2</sub> 排出量削減              | 34 |
| 廃棄物の削減、資源の有効利用                            | 35 |
| 地域環境保全への貢献                                | 36 |
| バリューチェーンの環境負荷 (2023年度実績)                  | 37 |
| 気候変動への取り組み                                | 39 |
| 生物多様性保全                                   | 40 |
| <b>社会分野</b>                               |    |
| 地域社会の発展への貢献<br>(芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援) | 41 |
| 情報発信・お客さま満足度向上の取り組み                       | 44 |
| 求める人材像<br>「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」             | 45 |
| 働きやすい職場環境をめざして                            | 46 |
| 労働安全衛生の取り組み                               | 47 |
| CSR報告書2024によせて                            | 48 |
| 広島ガスの概要                                   | 49 |
| 広島ガスグループの概要                               | 50 |

## CSR活動に対する 広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行そのものが、大きな「社会的責任」であり、事業活動を通じてSDGsの達成に幅広く貢献したいと考えています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、ガス体エネルギーの積極的・効率的利用による累積CO<sub>2</sub>の低減に邁進するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた事業基盤の改革・強化に挑戦していきます。また、社会貢献活動や、コーポレート・ガバナンスの充実など、ESG (環境、社会、ガバナンス) を意識した経営を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業グループをめざします。

## 広島ガスCSR報告書2024

### 発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任 (CSR: Corporate Social Responsibility) を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2005年度から、「CSR報告書」として「経営」「環境」「社会」の3分野で構成しています。

また、SDGsに関連する広島ガスの取り組みについて、該当するSDGsのアイコンを記載しているほか、マテリアリティ (重要課題) を記載するなど、掲載情報の充実に努めています。

### 【報告対象】

【範囲】 広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」  
【期間】 2023年4月から2024年3月までの活動 (一部、2024年度の実績を含む)

### 【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン (2018年版)」  
○金融安定理事会  
「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 最終報告書」

2024年4月に社長に就任しました中川です。

広島ガスは1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。私の役割は、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を基盤とした事業活動をさらに発展させていくことであると考えております。

広島ガスグループが果たすべきCSR(企業の社会的責任)には、「経営」「環境」「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうべき経営計画の策定・実施を、環境的側面では、天然ガス・LPガスの普及拡大による足元での低炭素化、さらにはe-メタン(合成メタン)の実装や、再生可能エネルギー電源の開発などのカーボンニュートラル社会実現に向けた活動を、社会的側面では、芸術・文化振興、スポーツ振興などの社会貢献活動を推進しております。これらの情報について、本CSR報告書をはじめ、プレスリリースやグループ広報誌などを通して発信しております。

広島ガスグループを取り巻く環境は、カーボンニュートラル実現に向けた潮流の加速、お客さまの生活スタイルの多様化、原燃料調達における為替変動などのリスクの高まり、DXやAI活用の加速度的な進展などによって、大きく変化しています。

2024年度中期経営計画においては、このような事業環境の変化を踏まえ、以下にお示しする3つの大きな柱を経営の軸として位置づけました。「広島ガスグループ2030年ビジョンの実現」と「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けて、グループの力を結集して諸施策に取り組んでまいります。

特に、2024年1月に一般販売を開始した電力小売事業については、都市ガス・LPG事業に続く、新たな収益基盤の柱として育てていきたいと考えており、新たな料金メニューやサービスのご提供に向けて検討を深めているところです。

### 1. 都市ガス・LPG事業の深化

カーボンニュートラル実現を見据え、重油や石炭からの燃料転換を中心としたガス(天然ガス・LPガス)の積極的・効率的利用により、足元での「CO<sub>2</sub>削減」に貢献します。

### 2. イノベーションの創出

ガスの脱炭素化手段の一つであるe-メタン(合成メタン)実装への準備や、電力小売事業、再生可能エネルギー電源の開発などを通じ、持続可能な未来の実現に資するイノベーションの創出をめざします。

### 3. 経営基盤の強化

DXの推進を通じて、グループ全体での生産性向上を確実に進め、価値創造の源泉である人的資本の価値向上に向けて、業務改革を実行します。

また、地域のエネルギー供給を担う企業の使命である、「保安の維持・向上と安定供給の確保」にも引き続き注力し、インフラ整備や現場力の向上などを通じて、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。本業であるエネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切に、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動と情報発信に取り組んでまいります。ESG経営・SDGsを意識した取り組みの推進と、脱炭素社会の実現に向けて「このまち思い」な「まちづくり」に貢献してまいります。

このような取り組みが、広島ガスグループの企業価値向上につながり、お客さまや地域の皆さま、株主の皆さまのご期待に応えること、さらには地域社会の発展にもつながるものと確信しています。

引き続き皆さまのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 社長執行役員

中川 智彦

2024年7月

経営理念

マテリアリティ



ビジョン

中期経営計画



## 地域社会から信頼される会社をめざす



脱炭素社会への貢献



デジタル技術を活用した  
社会課題の解決



多様な人材の活躍・  
働きがいの向上

## 広島ガスグループ2030年ビジョン

### 2030年ビジョン基本方針

#### 1 経営施策を通じた感動追求

- 経営理念に基づいた事業活動の展開
- 企業の社会的責任 (CSR)

#### 2 エネルギーサービスを通じた感動追求

- お客さまニーズの多様化によるサービス競争への対応
- エネルギーサービスの追求

#### 3 安心を通じた感動追求

- 地域社会の皆さまが日頃から安心して生活いただける環境整備
- 提供するエネルギーやサービスに対しての安心

#### 4 人とのつながりを通じた感動追求

- 広島ガスグループの強みを生かした事業展開
- 人材育成と従業員価値の向上

## 2024年度広島ガスグループ中期経営計画

グループの力を結集する  
ポイント

1

都市ガス・LPG事業の  
「深化」

燃料転換を  
中心としたガス拡販

2

イノベーションの  
「創出」

電力事業の拡大

3

経営基盤の  
「強化」

組織の全体最適化・DX

地域のエネルギー  
供給事業者として  
健全な発展

ガバナンス・  
コンプライアンスの推進

エネルギーの安定供給

地域社会への貢献

(ビジョンスローガン) **幸せにつながる感動発信**

## 2030年ビジョン基本戦略

- チャレンジ① 総合エネルギー事業の拡大で、地域社会の元気を支えます。
- チャレンジ② 環境貢献につながる事業展開と、次世代エネルギーの研究に取り組みます。
- チャレンジ③ デジタル技術の活用で、社会や暮らしに生きる高付加価値を創造します。
- チャレンジ④ 人を育て、地域の力となるプロフェッショナル集団になります。
- チャレンジ⑤ 常に安心安全を課題に、「もっとできること」を追求・実現します。
- チャレンジ⑥ 地域の皆さまと共に「理想のまちづくり」をお手伝いします。

## 広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ~笑顔あふれる未来へのAction~

広島ガスグループ SDGs重点取り組み項目

P13

| エネルギーの<br>普及拡大・安定供給     |                      |                  | 地域社会への貢献            |                     |                          | 環境保全                    |                  |                  | 働きやすい<br>社会のために    |                    |                  |
|-------------------------|----------------------|------------------|---------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------|------------------|------------------|--------------------|--------------------|------------------|
| 7 エネルギーと気候変動に<br>関連する目標 | 9 産業と資源効率の<br>向上につなぐ | 11 気候変動に<br>適応する | 2 質の高いエネルギー<br>を安全に | 3 持続可能な<br>消費と生産    | 4 質の高い教育を<br>みんなに        | 7 エネルギーと気候変動に<br>関連する目標 | 11 気候変動に<br>適応する | 13 気候変動に<br>適応する | 3 持続可能な<br>消費と生産   | 5 ジェンダー平等を<br>促進する | 8 働きがいも<br>経済成長も |
| 12 つくばない<br>資源を減らす      | 13 気候変動に<br>適応する     |                  | 11 気候変動に<br>適応する    | 16 平和と公正を<br>すべての人に | 17 パートナーシップの<br>目標を達成しよう | 14 海の豊かさ<br>を増やす        | 15 陸の豊かさ<br>を増やす |                  | 10 人や国の不平等<br>をなくす |                    |                  |

## 2050年カーボンニュートラルの実現

広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

P9

## マテリアリティ(重要課題)

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念などに基づき、持続可能な社会の実現に向け、マテリアリティ(重要課題)を特定しました。

マテリアリティに対応する指標と目標は、2030年ビジョンや2024年度中期経営計画と連動しています。

### マテリアリティの特定プロセス

STEP  
1

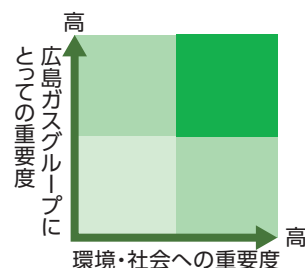
#### 重要課題の整理

経営理念および経営戦略(ビジョン)や中期経営計画の検討の際に重視した重要課題から抽出。重要課題の項目は、中期経営計画委員会を通して各部門からの意見も反映。

STEP  
2

#### 位置付け評価

STEP1で抽出した重要課題の項目について、「広島ガスグループにとっての重要度」と「環境・社会への重要度」という視点に基づき、抽出したマテリアリティ項目について、位置付け評価を実施。

STEP  
3

#### マテリアリティの特定

STEP2で抽出した内容について、マテリアリティ案として整理。中期経営計画委員会、経営会議、取締役会で審議し、マテリアリティを特定。

STEP  
4

#### 今後の取り組み

サステナビリティ情報開示の拡充、マテリアリティや指標・目標の見直しなどPDCAサイクルを回し、取り組みを推進。

### マテリアリティに対する取り組み

| マテリアリティ(重要課題)          | 指標                                 | 目標                     | 達成年度   | 2023年度実績            | 関連するSDGs |
|------------------------|------------------------------------|------------------------|--------|---------------------|----------|
| <br>脱炭素社会への貢献          | 都市ガス販売量                            | 750百万m <sup>3</sup> ※1 | 2030年度 | 497百万m <sup>3</sup> |          |
|                        | LPガス販売量                            | 120千t                  | 2030年度 | 81千t                |          |
|                        | 電気需給契約件数                           | 15,000件                | 2026年度 | 603件                |          |
|                        | CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量            | 30万t/年 ※2              | 2030年度 | 2.8万t               |          |
|                        | 再生可能エネルギー電源取扱量                     | 6万kW ※3                | 2030年度 | 4.6万kW              |          |
|                        | 広島ガス事業所・製造所におけるCO <sub>2</sub> 削減量 | 50%削減(2013年度比) ※4      | 2030年度 | 38%                 |          |
|                        | カーボンニュートラル投資額 ※5                   | 着実な推進                  |        | 28億円                |          |
| <br>デジタル技術を活用した社会課題の解決 | DXによる業務の削減時間数 ※5                   | 累計54,000時間の削減          | 2030年度 | 10,128時間            |          |

| マテリアリティ(重要課題)                                                                                               | 指標                                                | 目標                                   | 達成年度    | 2023年度実績                            | 関連するSDGs                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------|---------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>多様な人材の活躍・働きがいの向上       | 採用人数に占める女性比率                                      | 30%以上                                | 目標水準の維持 | 41.2%                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                                             | キャリア採用の実施 ※6                                      | 3人以上/年                               | 2026年度  | —                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                             | 障がい者雇用率                                           | 2.7% ※7                              | 2026年度  | 2.0%                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                             | 女性の管理職昇格比率                                        | 30%以上                                | 2030年度  | 5.6%                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                             | 有給休暇取得率                                           | 70%以上                                | 2024年度  | 80.9%                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                             | 男性の育児休業等取得率<br>(配偶者出産時の特別休暇を含む ※8)                | 100%                                 | 目標水準の維持 | 89.4%                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                             | ・個々のキャリアプランを意識できる制度の確立<br>・キャリアプランに合わせた教育プログラムの充実 | 着実な推進                                |         | DX推進・女性活躍推進・異業種交流などの各研修を実施          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <br>地域のエネルギー供給事業者として健全な発展 | 連結経常利益                                            | 70億円規模                               | 2030年度  | 33億円                                |          |
|                                                                                                             | 事業構成比 ※9                                          | 都市ガス事業:70%<br>LPG事業:20%<br>その他事業:10% | 2030年度  | 都市ガス事業:78%<br>LPG事業:19%<br>その他事業:3% |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <br>ガバナンス・コンプライアンスの推進    | 重大な法令違反件数 ※5                                      | 重大な法令違反件数<br>0件/年の継続                 |         | 0件                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <br>エネルギーの安定供給           | 重大な事故件数 ※5                                        | 重大な事故件数0件/年の継続                       |         | 0件                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                                             | ガス管の耐震化率                                          | 95%                                  | 2030年度  | 93.0%                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                             | LNG確保・安定供給維持に向けた対応の充実化                            | 原料在庫不足0件/年の継続                        |         | 0件                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <br>地域社会への貢献             | 社会貢献活動実績 ※10                                      | 着実な推進                                |         | 19,800人                             |                                                                                                                                                                                                                                                                |

※1 液売り・CNGを含む

※2 当社およびお客さま先における2021年度からのCO<sub>2</sub>排出削減貢献量

※3 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度(FIT)の適用電源を含む(対象会社:広島ガスグループ)

※4 ※2のCO<sub>2</sub>排出削減貢献量に含む

※5 対象会社:広島ガスグループ

※6 2024~2026年度の3年間で累計9人のキャリア採用目標

※7 法定雇用率が2026年度にかけて2.7%まで段階的に引き上げられる予定であり、2026年度までに達成をめざす目標としている

※8 配偶者出産時の特別休暇を含まない2023年度実績は78.9%

※9 売上高比率

※10 環境・社会貢献に関する啓発・PR活動の参加人数

●ウェブサイトにて実績を開示しています。▶▶▶

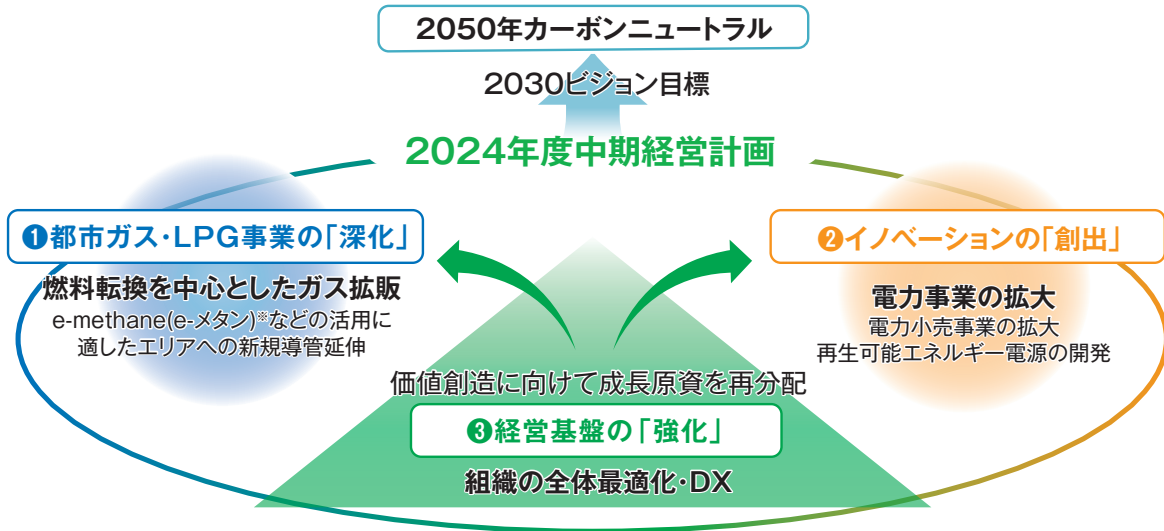
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/sustainability/materiality.html>

## 中期経営計画

2024年度広島ガスグループ中期経営計画では、「都市ガス・LPG事業の深化」「イノベーションの創出」「経営基盤の強化」という3つのポイントにグループの力を結集し、グループ一丸となって、2030年、その先の2050年を見据えた取り組みを積極的に展開していきます。

### 2024年度中期経営計画におけるグループの力を結集するポイント

電力事業を新たな成長戦略の柱に位置づけ、イノベーション創出をめざす



※グリーン水素などの非化石エネルギー源を原料として製造された合成メタン

#### ①都市ガス・LPG事業の「深化」

##### 都市ガス事業の「深化」

- 石油・石炭などからの燃料転換にグループの力を結集し、計画中の潜在需要(超大口)物件獲得を実現。

推計量・効果  
(2030年度)

潜在需要量 **240**百万㎡  
※現在、供給に向けて協議中の燃料転換潜在需要量  
CO<sub>2</sub>削減効果 **37**万t-CO<sub>2</sub>/年(想定)

##### LPG事業の「深化」

- LPガス販売量の獲得(重油からの燃料転換など)。

推計量・効果  
(2030年度)

潜在需要量 **20**千t  
CO<sub>2</sub>削減効果 **3,120**t-CO<sub>2</sub>/年(想定)  
※20千tの40%を重油からの燃料転換と想定

#### ②イノベーションの「創出」

- 電力小売事業への挑戦と拡大。
- 再生可能エネルギー電源の開発を継続拡大。

目標  
(2026年度)

電気需給契約件数 **1.5**万件

目標・効果  
(2030年度)

開発目標 **6**万kW  
CO<sub>2</sub>削減効果 **25**万t-CO<sub>2</sub>/年

#### ③経営基盤の「強化」

- 人的資本の価値向上と確保のための業務改革を実行。
- 2050年カーボンニュートラルに資する事業へ要員を再配置。

グループ組織機能  
全体最適化

× DXによる効率化

= 要員創出  
広島ガスの10%程度(70人規模)

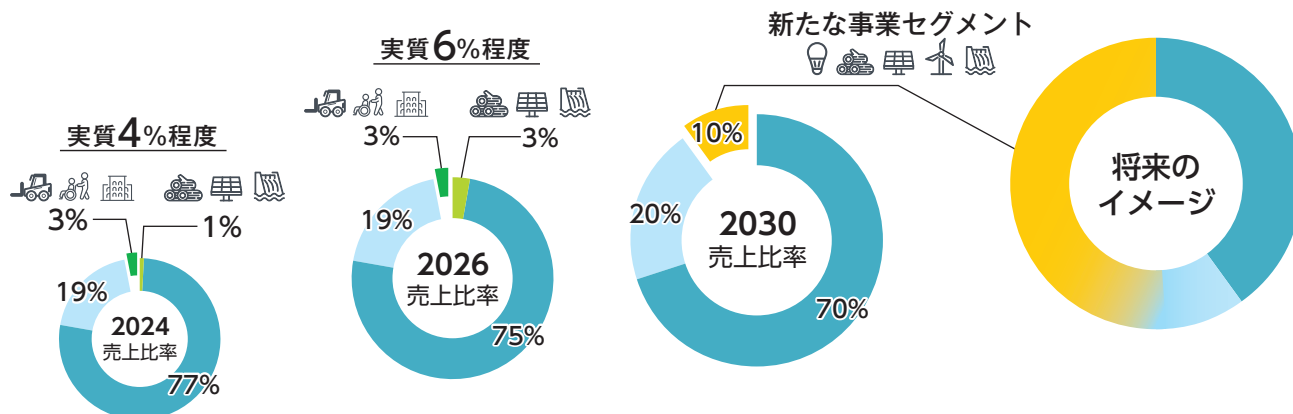
経営戦略に連動した  
人材施策

## 事業ポートフォリオについて

- 電力事業の拡大と、新セグメントとしての確立・拡大をめざす。

### 2024年度中期経営計画期間

### 2030年ビジョンからその先へ



凡 例 ■ 都市ガス事業 ■ LPG事業 ■ その他事業（建設工事・介護・保険代理店） ■ 再生可能エネルギーなど（現状、都市ガス事業に含むもの）

## ガス需給計画

### 都市ガス事業（家庭用/業務工業用）

- お客さま先の低・脱炭素化に向けた「石油・石炭からの燃料転換」のさらなる提案により、販売量の拡大をめざす。

### 都市ガス事業（卸供給等）

- 卸先の販売量の拡大や新規開発を支援し、卸供給量の拡大に取り組む。

### LPG事業

- 都市ガスとLPガスの協働営業の強化などにより、工業用などの新規開発営業を推進する。

| 需給計画               | 単位               | 2023年度(実績) | 2024年度(計画) | 2025年度(計画) | 2026年度(計画) |
|--------------------|------------------|------------|------------|------------|------------|
| 都市ガス販売量(家庭用/業務工業用) | 百万m <sup>3</sup> | 395        | 401        | 409        | 414        |
| 都市ガス販売量(卸供給等*)     | 百万m <sup>3</sup> | 101        | 97         | 82         | 86         |
| LPガス販売量            | 千t               | 81         | 81         | 83         | 85         |

※液売り・CNGを含む。

## 設備投資計画

### 都市ガス事業

- ガス販売量の普及拡大に向け安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替などを計画的・効率的に実施する。

### LPG事業

- コミュニティガス団地\*における経年劣化した導管をPE管などの耐震性の高い導管への取り換えを継続実施する。※道路に埋設されたガス導管でLPガスを供給する団地。

### カーボンニュートラル投資(CN投資)

- 再生可能エネルギーの導入拡大や低炭素化などに貢献する投資を実施する。

| 広島ガスグループ<br>設備投資    | 2023年度<br>(実績) | 2024年度<br>(計画) | 2025年度<br>(計画) | 2026年度<br>(計画) |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 設備投資合計額<br>(内、CN投資) | 99億円<br>(28億円) | 90億円<br>(16億円) | 98億円<br>(12億円) | 84億円<br>(8億円)  |

## 資本コストおよび株価を意識した経営に向けて

- 中期経営計画の取り組みを着実に実行し企業価値の向上とPBRの向上をめざす。
  - 電力小売事業の拡大
  - サステナビリティ戦略と一体化した成長戦略の推進

## 広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

2021年11月、広島ガスグループは、「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた中長期的な方向性や取り組みを示しました。

経営理念である、「地域社会から信頼される会社をめざす」を念頭に、当社グループ役職員が一丸となり、2050年カーボンニュートラルの実現、そして「このまち」のさらなる発展に貢献できるよう努めてまいります。

### 広島ガスグループにおける「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

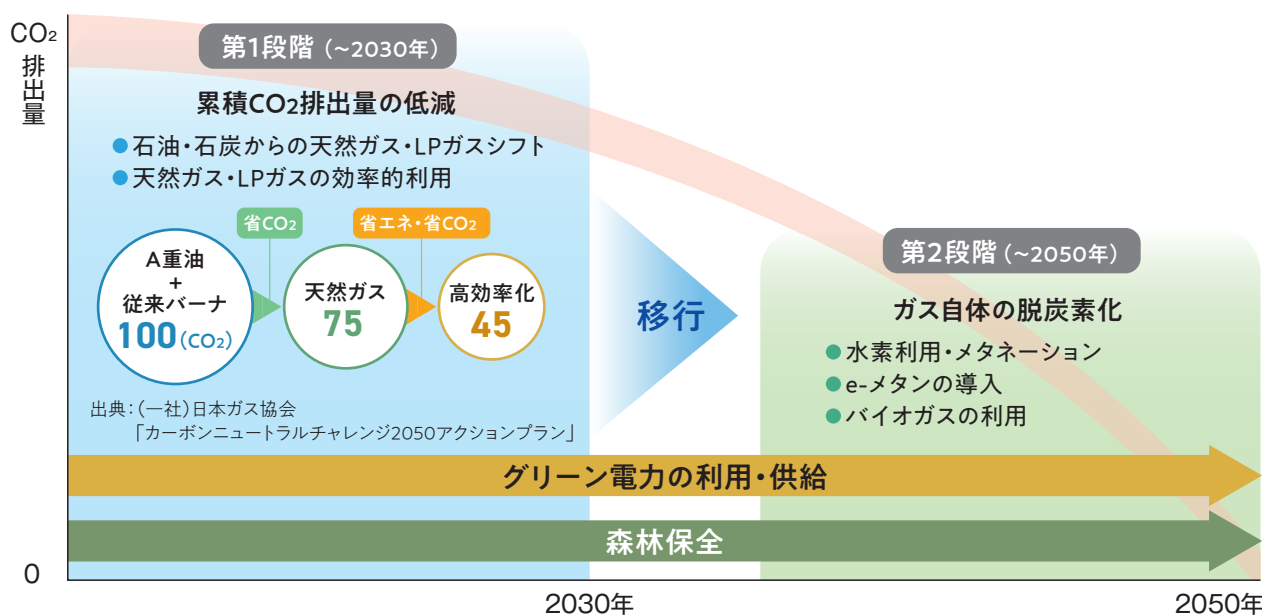
- 2030年までは、これまで実行してきた環境負荷低減に向けたさまざまなESG関連事業の取り組みを中心に、事業活動やお客さま先におけるCO<sub>2</sub>排出量の低減を着実に推進していきます。
- 将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに、電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざしていきます。

### 2030年度目標

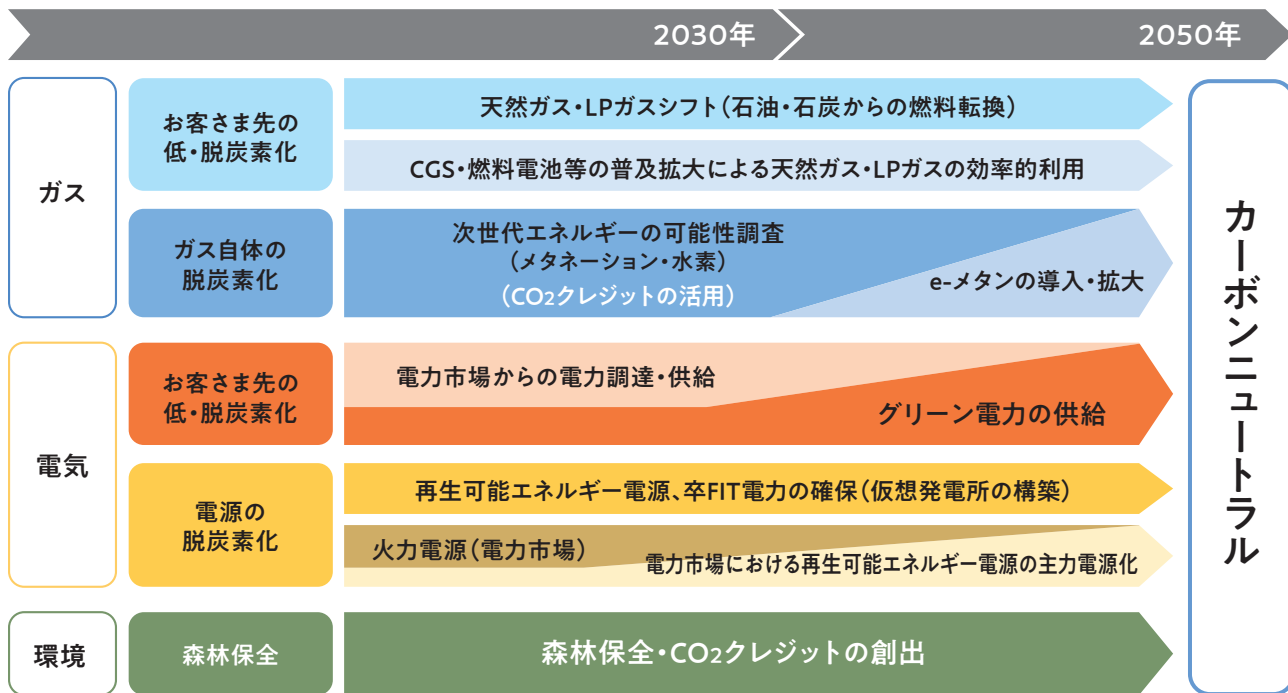
|                                    |                |                                                            |
|------------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------|
| CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量            | 30万t/年 ※1      | ※1 当社およびお客さま先における2030年度時点のCO <sub>2</sub> 排出削減貢献量(2021年度～) |
| 再生可能エネルギー電源取引量                     | 6万kW ※2        | ※2 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度(FIT)の適用電源を含む                     |
| 広島ガス事業所・製造所におけるCO <sub>2</sub> 排出量 | 2013年度比50%減 ※3 | ※3 CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量 30万t/年に含む                       |

### 取り組みの基本的な考え方

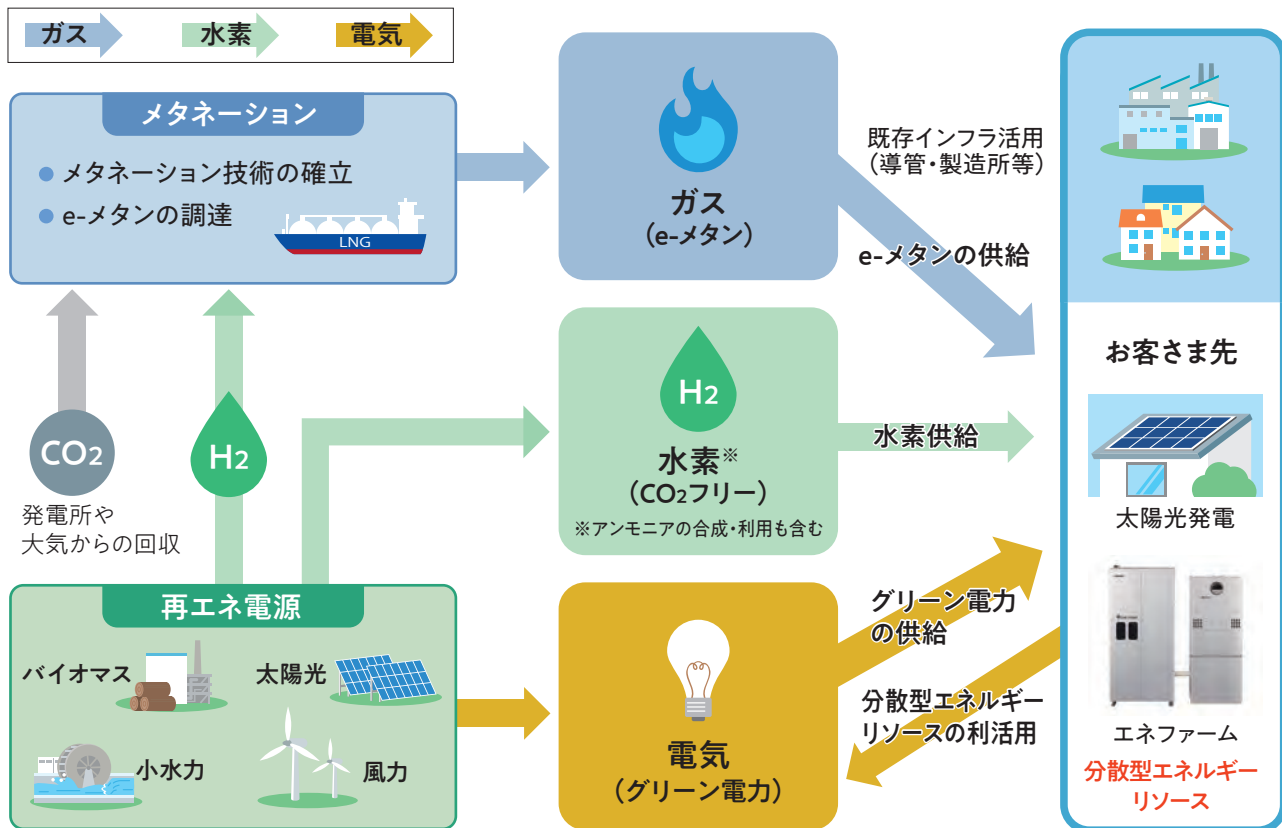
天然ガス・LPガスシフト、天然ガス・LPガスの効率的利用による「お客さま先の低炭素化」を着実に進めつつ、e-メタンの導入、バイオガスの利用を通じた「ガス自体の脱炭素化(供給側の脱炭素化)」へ移行していくことで、2050年のガスのカーボンニュートラル化に挑戦します。



## 2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



## カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーシステムのイメージ



## カーボンニュートラル実現に向けた具体的な取り組み

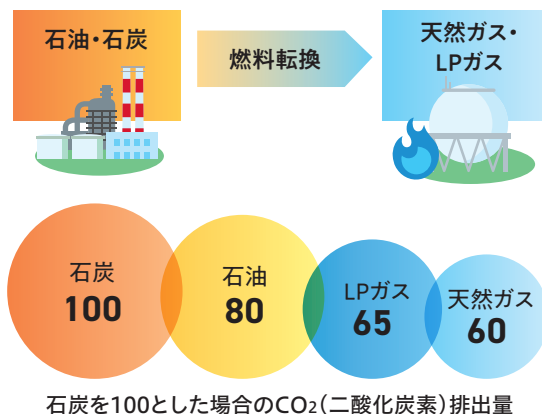
## ガス

石油・石炭からの天然ガス・LPガスシフト  
および効率的利用

- ◎ 石油・石炭から天然ガス・LPガスへの燃料転換
- ◎ 分散型エネルギーシステムの普及拡大
- ◎ LNGバンカリング※  
※船舶用燃料としてのLNG供給。

## ガス自体の脱炭素化

- ◎ 水素およびe-メタンの利用
- ◎ CO<sub>2</sub>クレジットの活用

石油・石炭から天然ガス・LPガスへの燃料転換  
によるCO<sub>2</sub>削減効果

## 事例紹介

## 地域の原料を活用したメタネーション実証事業

2023年12月から、西部ガス(株)を代表事業者とする「地域原料活用によるコスト低減を目指したメタネーション地産地消モデルの実証」に参画しています。本実証事業は、地域資源である再生可能エネルギーの余剰電力や近隣工場から発生する副生水素・未利用CO<sub>2</sub>を有効活用したメタネーションにより、e-メタン製造コストの低減と環境価値提供を目指すもので、中国地域でのメタネーション地産地消モデルの検討を進めていきます。

## 「ガス展2023」におけるカーボン・オフセットの実施

2023年秋に開催した「ガス展2023」では、環境負荷低減の取り組みの一環として、会場での電力使用やご来場のお客さまの移動などに伴い排出されるCO<sub>2</sub>について、当社備後工場の太陽光発電由来の「J-クレジット」や、尾道市と浦島漁業協同組合により創出された「Jブルークレジット」の活用による「カーボン・オフセット」を実施しました。



## 電気

## グリーン電力の供給体制の構築

- ◎ 分散型エネルギーリソースの普及・利活用
- ◎ グリーン電力の販売



## 事例紹介

## グリーン電力の販売

2024年1月から、当社の都市ガスもしくは当社指定のグループ会社のプロパンガスをご利用されている主に家庭用のお客さまを対象に、グリーン電力の販売を開始しました。再生可能エネルギー由来の環境価値を付加し、CO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロとなる電気を提供することで、お客さまとともに環境貢献に取り組んでいきます。

## 電気

## 再生可能エネルギー電源の確保

◎ 再生可能エネルギー電源の拡大と多様化

## 事例紹介 再生可能エネルギー電源の導入拡大

## 海田発電所(バイオマス発電)

中国電力(株)との共同出資会社である海田バイオマスパワー(株)は、2021年4月から海田発電所の営業運転を開始しました。本発電所は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、広島県内の林地残材などの未利用木材や、海外の木質系バイオマスなどを主燃料として燃料全体の80%程度利用し、年間で約8億kWhを発電しています。

## 東尾道太陽光発電所(太陽光発電)

2024年4月から、「東尾道太陽光発電所」の運用を開始しました。本発電所で発電した電力は、自己託送\*を活用し、当社の本社ビルを含む8施設へ供給しており、対象施設で使用する電力量の約40%を賄っています。また、再生可能エネルギー由来の電力を使用することで、年間約601tのCO<sub>2</sub>削減効果を見込んでいます。

\*遠隔地にある自社発電所で発電された電気を、一般送配電事業者の送配電ネットワークを利用して、別の場所にある自社工場や自社ビルなどへ送電するサービス。



東尾道太陽光発電所

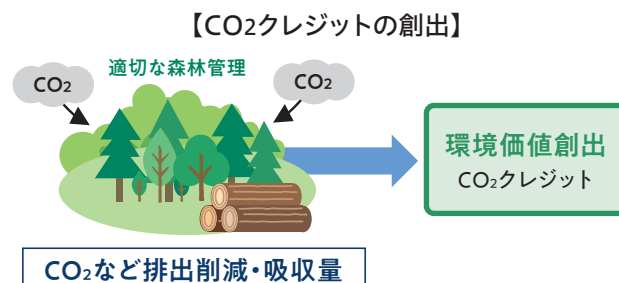
## 環境

「森林保全」を通じた「CO<sub>2</sub>削減」への貢献

◎ 森林保全

◎ CO<sub>2</sub>クレジット\*の創出

\*政府や企業間で取引される、森林保全や再生可能エネルギーの導入といった事業によるCO<sub>2</sub>などの排出削減量・吸収量を表したものの。



## 事例紹介 森林保全活動に関する近年の主な動き

|          |                                                                                                            |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2019年11月 | 広島県緑化センター内に「このまち思い 広島ガスの森」を開設                                                                              |
| 2020年7月  | 林野庁と分収造林契約を締結                                                                                              |
| 2020年9月  | 広島県竹原市仁賀町の森林地を購入し、「このまち思い 広島ガス竹原の森」を開設                                                                     |
| 2020年11月 | 広島県神石高原町星居山(ほしのこやま)に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設<br>「広島県森林組合連合会」と広島県における計画的な森林の伐採、植林、保育による森林保全に取り組むことを目的とした協定を締結 |
| 2022年4月  | 「このまち思い 広島ガス竹原の森」の未利用木材を海田発電所へ木質燃料として供給開始                                                                  |
| 2023年2月  | 北海道日高郡新ひだか町に「このまち思い 広島ガス日高の森」を開設                                                                           |
| 2023年3月  | 神石高原町石屋山に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設                                                                            |
| 2023年11月 | 「山口県森林組合連合会」と山口県における森林の循環利用事業に関する協定を締結                                                                     |



「このまち思い 広島ガス神石高原の森(石屋山)」森開き式

# 広島ガスグループにおけるSDGsの取り組み

## 広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言

～笑顔あふれる未来へのAction～

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、実効性のあるコーポレート・ガバナンスに取り組み、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、「このまち思いエネルギー。」という企業スローガンのもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月30日  
広島ガスグループ



SDGsの達成に貢献し、地域および企業の発展につなげていくため、SDGsに関するさまざまな活動に取り組んでいます。

WEB 広島ガスグループ「SDGsの取り組み」



<https://www.hiroshima-gas.co.jp/sdgs/>

### 重点取り組み項目 1 エネルギーの普及拡大・安定供給

基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給などを通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

#### 【主な取り組み項目】

- ①ガス体エネルギー（天然ガス、LPガス）の普及拡大と高効率利用の推進
- ②ライフラインであるガス導管を通じての安定供給の強化
- ③保安レベルの向上、災害対策およびレジリエンス機能の強化
- ④デジタル技術を活用したお客さまサービスの充実
- ⑤新規事業の展開



#### 取り組み事例

都市ガスの安定供給と保安の確保に向けて、各種教育・訓練を行っています。全社での総合防災訓練や都市ガス製造工場での緊急時対応技能コンクール、導管事業部での保安技能大会の実施をはじめ、行政や地域とも連携し、自衛消防隊消防競技大会への参加など、緊急時などに迅速かつ適切に対処するための訓練を実施しています。



緊急時対応技能コンクール



広島市消防局などが主催する自衛消防隊消防競技大会

関連  
ページ

P20 P22

### 重点取り組み項目 2 地域社会への貢献

広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

#### 【主な取り組み項目】

- ①地域の文化・芸術、スポーツ振興への貢献
- ②防災教育・次世代教育・子ども食堂等の取り組みの推進
- ③国際平和都市広島への貢献



#### 取り組み事例

地域の活性化と持続的な発展に向けて、お客さまや地域、行政とのパートナーシップによる社会貢献活動を行っています。次世代を担う子どもたちの育成支援や、当社のWeb会員さまと連携した「赤い羽根共同募金」への寄付、障がいのある方の就労支援に向けた障がい者福祉事業所アンテナショップによる社内販売会などを行っています。



広島市共同募金委員会から  
マイ広島ガス会員有志への感謝状



障がい者福祉事業所アンテナショップ  
「ふれ愛プラザ」による社内販売会

関連  
ページ

P41 P43

### 重点取り組み項目 3 環境保全

環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### 【主な取り組み項目】

- ①再生可能エネルギーの普及拡大
- ②地域環境保全活動の推進
- ③森林保全活動の推進



#### 取り組み事例

環境性に優れたエネルギーの供給などによる環境貢献に加え、業界団体や行政、地域と連携した環境保全活動を推進しています。尾道市が発行したブルーカーボン由来のJブルークレジットの購入による干潟・藻場の再生への協力や、お客さま・地域・従業員を対象とした森林保全活動など、環境貢献に資する活動に取り組んでいます。



尾道市「ブルークレジット意見交換会」 「このまち思い 広島ガス神石高原の森」での植樹体験



関連  
ページ

P36 P40

### 重点取り組み項目 4 働きやすい社会のために

労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

#### 【主な取り組み項目】

- ①働き方改革の推進
- ②労働安全衛生体制の充実
- ③人材育成への取り組み



#### 取り組み事例

デジタルトランスフォーメーション(DX)や労働安全衛生の取り組みなどを通じて、従業員の生産性向上や働きやすい職場環境づくりを推進しています。役職員のワークパフォーマンス向上に向けた働き方改革や、役職員対象「コンディショニング講座」などを通じた健康増進に取り組んでいます。



スタンディング打合せセーム



コンディショニング講座

関連  
ページ

P46 P47

### SDGsの社内浸透(定着化)への取り組み

#### 行政・外部団体と連携した役職員参加型の取り組み

社員参加型の取り組みとして、外部団体と連携し、使い捨てコンタクトレンズの空ケースおよびペットボトルキャップを回収・寄付しています。回収品は寄付先を通じてリサイクル用に売却され、その収益金は、角膜移植支援や途上国の子どものワクチン購入などに活用されています。また、リサイクルを通じて、CO2排出量の削減にも貢献しています。



リサイクル品の回収

#### 職場単位や役職員の私生活におけるSDGs活動の共有

各部門および個人(私生活)の活動事例を、社内イントラネットを活用して広島ガスグループ内で共有しています。取り組み事例を発信・共有することで、職場や自身の活動の参考にするなど、SDGsを自分ごととしてとらえたとともに、活動の浸透・定着を図っています。



社内イントラネットでの掲載例

## 「グリーン電力」の一般販売開始

2024年1月から、当社の都市ガスもしくは当社指定のグループ会社のプロパンガスをご利用されている主に家庭用のお客さまを対象に、グリーン電力の販売を開始しました。

当社の電気は、再生可能エネルギー由来の非化石証書※1などを活用し、CO<sub>2</sub>の排出を実質ゼロ※2にした「グリーン電力」です。当社は、この「グリーン電力」をお届けすることで、お客さまとともに環境貢献に取り組んでいきます。

※1 再生可能エネルギーなどの非化石電源で発電した電力から「環境価値」を証書化したもの。

※2 非化石証書市場の状況によっては「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」にならない場合があります。



### CO<sub>2</sub> 排出量が実質ゼロになる仕組み



## 廿日市市における特定送配電事業の開始

2023年11月から、廿日市市役所本庁舎・文化センターおよび廿日市浄化センターへの特定送配電事業※による電力供給を開始しました。

本事業では、廿日市工場ของガスコージェネレーションシステムで発電した電気を廿日市市施設に供給しており、当社設備の有効利用を図ると同時に、送配電先施設におけるエネルギーセキュリティ向上(BCP電源の確保)、省CO<sub>2</sub>などを実現しています。

当社は、電力の供給やエネルギーの効率的利用により、低炭素社会の実現や、地域の防災力向上に貢献していきます。

※送電設備・配電設備を維持・運用し、特定の供給地点まで電気を送り届ける事業。



廿日市工場ガスコージェネレーションシステム

## 「GXリーグ」への参画

広島ガスは、2021年11月に公表した広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」で示した、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた中長期的な方向性や取り組みが、「GXリーグ」の目的や活動と整合すると考え、「GXリーグ」に参画しています。

「GXリーグ」は、GX(グリーントランスフォーメーション)に積極的に取り組む企業などが一体となって、経済社会システム全体の変革に向けた議論と、新たな市場の創造をめざす実践の場となります。

当社は、「GXリーグ」に参画し、お客さまや取引先とともに、グループ一丸となって、2030年、その先の2050年を見据えた取り組みを積極的に展開することで、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



## 山口県における森林の循環利用事業に関する協定の締結

2023年11月、山口県における森林の循環利用により、二酸化炭素の吸収や地域の環境保全に貢献することを目的として、山口県森林組合連合会と協定を締結しました。

本協定の締結を機に、広島ガス、山口県森林組合連合会および各森林組合は、協働して森林の取得・植林を含めた森林保全、さらに未利用木材の有効利用などの森林循環利用に取り組み、山口県における中山間地域の活性化、SDGs達成やカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



山口県森林組合連合会との協定締結式

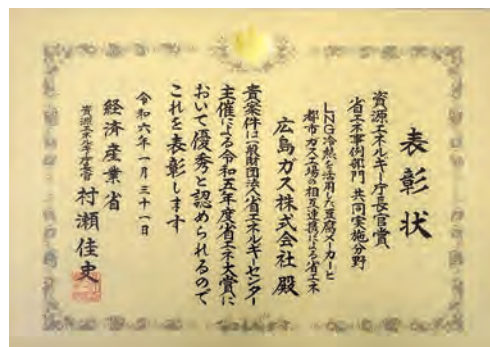
## 省エネ大賞受賞

(株)やまもとと広島ガスは、「LNG冷熱を活用した豆腐メーカーと都市ガス工場の相互連携による省エネ」に関して、2023年度省エネ大賞(省エネ事例部門)の「資源エネルギー庁長官賞(共同実施分野)」を受賞しました。

省エネ大賞は、事業者や事業場等において実施した他社の模範となる優れた省エネ・脱炭素の取り組みや、省エネ性・CO<sub>2</sub>削減において優れた製品・ビジネスモデルを表彰するもので、一般財団法人省エネルギーセンターが経済産業省の後援を受け、主催されています。

今回の受賞は、隣接するやまもと本社工場と広島ガス備後工場において、都市ガスを製造する過程のLNG冷熱を熱融通することで、大幅な省エネ効果を実現した点や、異業種による事業連携の省エネ活動が高く評価されたものです。

当社は、今後もビジネスパートナーとの連携を図りつつ、エネルギーの効率的利用に関する取り組みを展開することで、省エネ、省CO<sub>2</sub>を推進していきます。



省エネ大賞表彰状